



第3回総会開催される

去る5月29日(日曜日)午前10時から、竜山中学校作法室において第3回総会が開かれました。好天に恵まれましたが、出席者は39名。寂しく肅々と始まりました。

議案については、肅々と推移しましたが、意見交換に入ると、「総会出席者が少ない」・「いつになったら市街化になるのか?」・「何も(まちづくりが)進展していないではないか!」・「収入がなかったら困るから田圃を貸したい」等の意見、質問がありました。「いつになったら市街化になるのか」「何も進展していないではないか」という質問に対しては、市当局より、今までのまちづくりの経過と、本地区が市街化区域に入るためには何が必要で、どうして今、市街化区域編入の進展がみられないのかを回答して頂きました。

市街化調整区域に土地をお持ちの皆さん、是非、まずは総会や地域の懇談会に出席しましょう。そして何年かかろうとも高砂市そして兵庫県に、自分たちの考えを理解して頂き、助成金・補助金の獲得へそして、市街化区域編入につながることを期待しましょう。また、そのためにも地権者である私たちも市街化編入について、もっと勉強しましょう。

議案にありました、平成17年度事業計画及び新役員については次のとおりです。

☆☆☆今年、こんなことをがんばって
いきましょう!!!☆☆☆

平成17年度事業計画

1. まちの将来像実現のための取り組み
 - 協定違反防止運動
 - 市街化調整区域にふさわしいまちづくりの検討
 - 会員の意向集約
2. まちづくり協議会の活動
 - 役員会の開催
 - 広報部会開催「みんなのまちづくり」の発行
 - 環境管理部会 地区内パトロール実施
 - 学習会、地区別懇談会等の開催
 - 行政および関係団体との連携調整
3. その他、まちづくり協議会のために必要なこと

(新役員は次ページ)

事務局より

平成16年度決算、平成17年度
予算およびその詳細については、
事務局にお問い合わせください。



第3回総会の様子

新役員紹介

前柴田会長の後を受けまして、会長に選出された高谷照男と申します。当地区のまちづくりは現在非常に厳しい状況ですが、皆様のご協力を頂きまして、少しずつでも前進していきたいと思っております。よろしく願いいたします。



明姫幹線南地区まちづくり協議会会長 高谷 照男

5 役

役職名	氏名	部会	備考
会長	高谷照男	環境管理部会	伊保中部農会代表
副会長①	臼井英司	—	曾根町農会代表
副会長②	塩崎真一郎	—	伊保西部農会代表
会計	柴田一郎	—	中筋東農会代表
書記	宮宅勇二	広報部会	公 募
会計監査	砂川周三	—	中筋西農会代表
会計監査	南達男	広報部会	公 募

地区幹事

地区名	氏名	部会	備考
A 地区	田中義勝	環境管理部会	伊保東部農会代表
	粕谷格	—	伊保東部農会代表
	内田成美	—	伊保東部自治会代表
	有原八郎	—	伊保東部自治会代表
	高谷啓司	—	伊保中部自治会代表
	高原達也	—	伊保中部自治会代表
	位田篤男	—	伊保中部農会代表
	田中静代	広報部会	公 募

B 地区	青木栄蔵	広報部会	伊保西部農会代表
	大内明	—	伊保西部農会代表
	加茂峯生	広報部会	伊保西部自治会代表
	柴田良之	—	中筋東農会代表
	柴田勝	環境管理部会	中筋東自治会代表
	柴田秀勝	環境管理部会	中筋東自治会代表
	熊田勝治	—	公 募

C 地区	岸田敏雄	—	中筋西農会代表
	山本洋一	広報部会	中筋西自治会代表
	池野増男	—	中筋西自治会代表
	奥本智一	—	公 募
	鎌田耕次	—	曾根町農会代表
	中井準一	—	曾根町農会代表
	北野明	環境管理部会	曾根町農会代表
	水王省三	—	曾根町農会代表
	木谷博雅	環境管理部会	曾根町農会代表

セレモニーホール「高砂大和会館」の建設について

今年の2月1日、姫路市「大和生研」からセレモニーホール「高砂大和会館」建設に伴う、まちづくり協定の届出がなされました。

建設場所は、竜山中学校北側「中野興業」の跡地に予定されており、当協議会では「沿道商業業務ゾーン」に位置付けされています。

まちづくり協定の規定ではこの「沿道商業業務ゾーン」に、セレモニーホールの建設はできないことになっているので、まちづくり協定の届出に対し、「不適合」と回答しました。

しかし、皆さんもご存知のとおり、まちづくり協定は法に基づいたものではありません。

そして都市計画法などの法的な規制については、セレモニーホールの建設は問題がありませんでした。そのため、大和生研からは、建設を進めたいとの意向が示されたのです。

そこで、3月11日に開催された役員会で、大和生研及び設計者等に出席していただき、説明を受けました。

大和生研からは、「法的にはセレモニーホールの建設は問題なく、高砂に居住されている「大和会館」の会員の皆様方の要望に是非応えたい。まちづくり協定の用途以外の規制については、守っていきたい」とのことでありました。

その後、役員会で協議を重ねました。そして、結局建設されるのであれば、用途以外の協定の規制は守っていただき、また明姫幹線南地区のまちづくりに関して当協議会と連携を密にし、協力していただいた方がよい。そのためには、協議会と大和生研の間で覚書を締結する方がよいとの結論にいたりました。

そして、6月17日、協議会で作成した案に対し双方が合意したため、覚書を締結しました。

覚書の内容については、当協議会事務局(高砂市都市計画課)にて、閲覧できます。

～明姫幹線南地区の風景～

地区内の地権者さんのお庭を拝見させていただきました。



田んぼのあぜも
ひまわりが植え
られています。



お庭にはたくさんの花々が
ところ狭しと並んでいます。



こちらも田んぼのあぜに。
かわいらしく咲いています。



ある地主のひとりごと

「総会に出席してみたけれど」

5月29日（日）に第3回まちづくり協議会の総会があり出席しました。

総会なかばにA氏が発言を求めました。

発言の要旨

1. 総会に一般地権者の出席が少ないし、また役員の出席率も悪い。もっと真剣に活動してほしい。
 2. 自分の横の道路をダンプカーが10台ぐらい通るので非常に危険である。早く市街化を進めて道路を広くして安全に生活できる様にしてほしい。
 3. 市は市街化に伴う減歩と費用を地権者に負担を求めているがこれは無理である。市か県が毎年2～3億予算を組んで早急にすすめてほしい。
- 等の意見がありました。

私はA氏の意見はもっともだと思ふ反面、無理を言っているなとも思いました。

(1) 総会の出席率が悪いのは会議の中身に問題はないのか。

わずか40万円前後の決算予算報告、新味のない事業報告計画、留任の多い役員改選等々会議そのものがセレモニー化してしまっている。会議の内容を検討してもいいのではないかと思う。役員の人にも冠婚葬祭があり、全員出席は難しいと思う。

(2) 平成15年8月「明姫幹線南地区まちづくり協定」を締結したが、条例にならず、地元地権者にもさまざまな考えの人がいるため、協定違反が出てきてしまった。市は再度条例化を目指す。そして乱開発を防ぎ協定どおりの開発を促す。

一方地権者は市街化に対し大きな減歩、多大なる費用負担等により、市街化への熱は冷めつつある。従って現状維持派が増えてきたように思う。

(3) 市街化区域にするための費用を全て地権者に負担させるようでは前には進まないし、市及び県に要求しても今の財政状況では無理である。双方が適切に負担する方向で話を進めるようにする。

この会に出席して思ったことは「まだまだ先が長い」ということでした。

～事務局よりお知らせ～

平成17年度より、事務局である高砂市都市整備部計画課が、まちづくり部都市計画課と名前が変わりました。

また、寺本課長に代わり、沼田課長が就任しました。

(広告)

協議会の運営やまちづくりに関するご質問は、各地区役員及び事務局に遠慮なくお問い合わせ下さい。

明姫幹線南地区まちづくり協議会 事務局：高砂市まちづくり部都市計画課

TEL：0794-43-9033

FAX：0794-43-9091

e-mail:tact3810@city.takasago.hyogo.jp